

KAGURA'S History



金鑽神社 (神川町二宮)

神楽とは？

神楽は自然への感謝を表現し、神様へと奉納される芸能です。その始まりは、『古事記』や『日本書記』に記される神話にあると言われています。

昔、天照大神が、弟・素盞鳴尊の乱暴な振る舞いに怒り、天の岩戸に隠れてしまいました。世の中は真っ暗闇になり、恐ろしいことや悲しいことが次々に起こりました。困った神々が集まって相談し、岩戸の前で天鈿女命が舞を舞って、天照大神を誘い出しました。その舞が、神楽の始まりだと伝えられています。そのような歴史ある神楽は、人から人へと現代までつながれています。

本庄市の神楽

市内には、金鑽神楽杉田組・宮崎組・本庄組・根岸組・太駄組があり、市の無形民俗文化財として指定さ



れています。どの組も神川町二宮の金鑽神社を核として形成された神楽組で、杉田組・宮崎組・本庄組が明治15年に、根岸組が明治18年に、太駄組が明治26年に組織され、金鑽神社周辺に計13組が金鑽神楽として組織されていました。

金鑽神楽

金鑽神楽は、宝暦年間(1761〜1764年)に金鑽神社に古くから伝わる神楽と、大宮住吉神社(坂戸市)に伝わる神楽を融合し、改良を加えて演目を定め、より優雅に壮厳にしたと言われています。

統一演目が25座(下表参照)定められており、基本的にはこの25種類の舞が伝承されていました。現在ではすべてを伝承する組はなく、このうちからいくつかを選んで舞われています。また、統一演目以外の独自の舞がある組もあります。

Commentary

神楽解説：金鑽神楽の統一演目のうち、一般的に演じられることの多い4座を解説します

金鑽神楽 統一演目

番号	座名 (通称)	番号	座名 (通称)
1	岩戸開 (岩戸)	13	御穂崎 (鯛つり)
2	氷の川 (大蛇退治)	14	諏訪海
3	向火	15	伊賦夜坂 (替面)
4	禊 (翁)	16	御幸易
5	相生	17	満乾珠 (玉取)
6	御誓盟 (誓約)	18	久寿師 (医者)
7	御降臨 (天狗)	19	無戸室 (産舎)
8	鍛冶	20	五行
9	御殿舎	21	竈
10	種蒔 (天狐)	22	御井 (井戸掘り)
11	養蚕	23	男山
12	天長田 (豊作)	24	湯探 (湯行事)
		25	三韓征伐

- ◎「禊」… 舞台を祓い清めることを目的とした舞。初座として初めに演じられることが多い。翁の別称を持つことも多く、能の翁を採り入れ、能の神事性をそのまま引継ぐ。多くの場合は、太刀や幣を持って翁面をつけての一人舞となる。
- ◎「相生」… 夫婦仲良く連れ添って長生きするという意味を持ち、夫婦の契りかわす舞。オノロコ島(後の日本)にイザナギとイザナミが降り、夫婦の契りをなし、八十島、八十万の神を生んだとする神話を題材にしている。
- ◎「岩戸開」… 神楽の起源とされる物語の舞。欠くことのできない座として位置づけられる地域が多く、多くの神々が登場し、劇仕立ての演出が多い。
- ◎「種蒔」… 稲作の豊穰祈願の座であり、道化が活躍し餅撒きが行われることから人気が高く、終曲の座とされることが多い。

一般的にこの順序で行われることが多い

— 禊 —



— 岩戸開 —



— 種蒔 —



100年以上前から続く伝統芸能「神楽」。時代の流れにより、生活から遠ざかり始め、その存在すら知らない人が増えてきています。しかし、その伝統を知らないまま良いのでしようか。神楽に込められた想いや歴史、神楽のことを知れば知るほど、その伝統に胸を打たれるはず。今月の特集は、その神楽の魅力を伝えるとともに、市内でその伝統を伝承し続けようとする団体を紹介していきます。神楽を知っている人も知らない人も、まず読んで、ぜひ、その魅力に触れてください。

「神楽ってなに?」「本庄でもやっているの?」「聞いたことはあるけど、よくわからない」。そう思ったみなさん、ぜひ、今月の特集を読んでください。

神楽の伝承 × 神楽の伝